



令和2年度 長岡国道事務所雪氷研究会を開催しました

9月4日、長岡国道事務所会議室において、長岡技術科学大学大学院 上村教授、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石センター長をアドバイザーとしてお迎えし、令和2年度 長岡国道事務所 雪氷研究会を開催しました。

本研究会は、長岡国道事務所管内における冬期道路管理に関わる雪氷対策や課題への取組みについて、参加者より発表いただき意見交換を行うことで、雪氷に関する課題の解決や手がかりを探ることを目的に、平成10年度より開催しています。

今年度は長岡国道事務所職員をはじめ、アドバイザー、新潟県長岡地域振興局地域整備部、北陸雪害対策技術センター、(一社)新潟県融雪技術協会、除雪請負業者等、約40名が参加し、熱心な討論が行われました。

研究会では、道の駅「ちぢみの里おぢや」で施工した地中熱融雪施設の導入効果検証の発表をはじめ、7編の取組報告がありました。また、意見交換の場では「官・民・学」の各現場でのニーズ(課題等)とシーズ(研究機関の技術)について、参加者の皆さんで把握・共有し活用することで、今後の冬期道路管理の効率化・省力化を図っていくことを確認しました。

【総括保全対策官】



事務所長による開会の挨拶



研究会での発表状況

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

携帯版

スマホ版



ちよーこく 検索

道の駅「ちぢみの里おぢや」合同防災訓練を実施しました

令和2年9月14日(月)、道の駅「ちぢみの里おぢや」において、合同防災訓練を実施しました。

この訓練は、小千谷市の災害時における避難場所に指定されている「ちぢみの里おぢや」に設けた防災施設を、地震等の大規模災害が発生した際に円滑な運用することを目的として行っているものです。

当日は、長岡国道事務所、小千谷市、ちぢみの里の職員と合同で、非常用トイレの組み立て訓練、災害用保管資材の確認、非常電源用発電機の起動操作の説明等を行いました。

いつ起きるか分からない災害に備え、今後も訓練を行っていきます。



【非常用トイレの組み立て】

非常用トイレの組み立て方法を確認して、各団体ごとに設営訓練を実施。



【災害用保管資材の確認】
保管庫の資材をリスト表と照合し、
1つ1つ点検を行いました。



【非常電源用発電機の起動操作の説明・Ku-SATの紹介】
長岡国道事務所の職員による非常電源用発電機の起動操作と
Ku-SAT使用方法の説明。



「Ku-SATとは」

通信衛星を使用した、映像・音声・電話・FAXの通信を行う装置で、人力による持ち運びが可能のため、現場で設営して現場状況の映像を送信することができます。

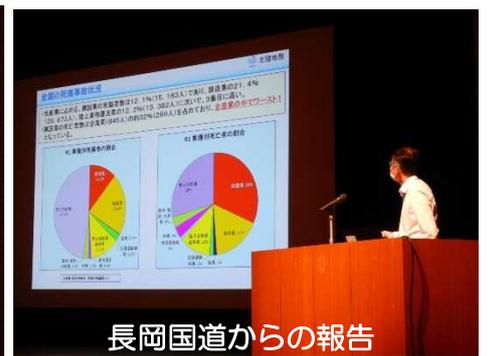
「建設労働災害ゼロ」を宣言！あんぜん大会

長岡国道事務所工事安全対策協議会は、9月15日(火) 長岡市中之島文化センターにおいて建設労働災害防止大会を開催し、工事等の受・発注者が一体となって、労働災害、公衆災害、交通災害等を防止することを確認し、安全宣言により「建設労働災害ゼロ」を目指して取り組むことを宣言しました。

大会では、長岡労働基準監督署、長岡警察署及び長岡市消防本部から講師を招き、安全に関する講話をいただきました。最近発生した工事事故や交通事故の事例紹介とともに、事故防止のための遵守事項の紹介や救急救命に必要な知識など、安全対策の参考となる貴重な講義に、会場の参加者全員が真剣に聞き入っていました。

また、今年度の安全管理優良受注者表彰を受賞された小杉土建工業(株)より、昨年度施工した工事において実施した「安全管理の取り組み事例」を紹介いただくとともに、長岡国道事務所からは今年度の工事事故発生状況と事故の特徴等を報告し、現場における注意喚起を行いました。

大会の締めくくりに、協議会を代表して小柳建設(株) 現場代理人 牛腸さんの先導で、「安全宣言」を参加者全員(147人)で唱和し、無事故・無災害に取り組むことを確認しました。



長岡高専の学生が橋梁補修工事の現場を見学しました

9月17日、国道17号長倉高架橋において、長岡高専の環境都市工学科5年生、専攻科環境都市工学専攻1、2年生計11名の皆さんに、補修工事の現場を見学していただきました。この見学会は、将来の建設業界を担う人材育成を目的として実施したものです。

当日は事務所職員より道路構造物の維持・管理について説明を受けてから、施工業者から補修工法の説明を受けながら補修中の橋脚や床版等を間近で見学し、老朽化対策の知識を深めていただきました。

学生にとってはめったに見ることができない橋梁補修工事中の現場であり、また施工業者から直接話が聞けたことから、貴重な経験になったと思います。

【管理第二課】



職員から道路構造物の維持・管理について説明



施工業者から本現場の工事概要説明



施工業者から施工方法の説明



生徒から施工工法について質問